

数学演習第二 (演習第2回)

線形：直線・平面の方程式と外積

2016年 10月 12日 実施

1 [内積, 外積] (線形 p.4, p.8)

- 空間ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{bmatrix}$ と $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{bmatrix}$ の外積 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ は $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{bmatrix} a_2b_3 - a_3b_2 \\ a_3b_1 - a_1b_3 \\ a_1b_2 - a_2b_1 \end{bmatrix}$ で定義される.

- $\mathbf{u} = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}$, $\mathbf{v} = \begin{bmatrix} -1 \\ 1 \\ 4 \end{bmatrix}$, $\mathbf{w} = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{bmatrix}$ に対して, $\mathbf{u} \times \mathbf{v}$, $\mathbf{v} \times \mathbf{u}$, $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \times \mathbf{w}$, $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w})$ を計算せよ.
- 平面ベクトルまたは空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ に対して, \mathbf{b} を $\mathbf{b} = \mathbf{p} + \mathbf{q}$ ($\mathbf{p} \parallel \mathbf{a}$ (平行), $\mathbf{q} \perp \mathbf{a}$ (垂直)) の形に分解せよ (\mathbf{p}, \mathbf{q} を \mathbf{a}, \mathbf{b} で表せ). このとき \mathbf{p} を「 \mathbf{b} の \mathbf{a} 方向への正射影」と呼ぶ (線形 p.7).
- * (2) において, $\|\mathbf{b}\|^2 = \|\mathbf{p}\|^2 + \|\mathbf{q}\|^2$ が成り立つことから, 不等式 $|\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}| \leq \|\mathbf{a}\| \|\mathbf{b}\|$ を導け.
- (1) の \mathbf{u}, \mathbf{v} に対して, $\mathbf{u} \cdot \mathbf{v}$, $\|\mathbf{u}\|$, $\|\mathbf{v}\|$ および \mathbf{u}, \mathbf{v} のなす角を求めよ. また, \mathbf{v} の \mathbf{u} 方向への正射影を計算せよ.
- * 空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を 3 列に並べてできる行列式を $\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]$ と表すとき, これを第 3 列に関して余因子展開して $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]$ を示せ. 更に, この関係式を用いて, 次を示せ: ① $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{a} = (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{b} = 0$, ② \mathbf{a}, \mathbf{b} が 1 次独立ならば $\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{a} \times \mathbf{b}] > 0$ (すなわち $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{a} \times \mathbf{b}$ が右手系).

2 [面積, 体積] (線形 p.6, p.8, pp.85-86)

- 平面ベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} に対して,
 \mathbf{a}, \mathbf{b} の作る平行四辺形の面積 $S = |\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b}]|$.
- 空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ に対して,
 \mathbf{a}, \mathbf{b} の作る平行四辺形の面積 $S = \|\mathbf{a} \times \mathbf{b}\|$ ($= \sqrt{\|\mathbf{a}\|^2 \|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}$),
 $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ の作る平行六面体の体積 $V = |\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]|$ ($= |(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c}| = |\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})|$).

- $P(1, -2)$, $Q(-1, 2)$, $R(2, 3)$ のとき, $\triangle PQR$ の面積を求めよ.
- $P(-1, 2, 1)$, $Q(1, 0, -5)$, $R(-3, 1, 2)$, $S(2, 2, -1)$ のとき, $\triangle PQR$ の面積, および四面体 (三角錐) $PQRS$ の体積を求めよ.

3 [空間内の直線と平面] (線形 pp.10-13)

- 点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ を通り, $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c) \neq \mathbf{0}$ を方向ベクトルとする直線は $\mathbf{x} = \mathbf{x}_0 + t\mathbf{a}$ (t は実数) と表される (直線のベクトル方程式). これを成分表示し, t を消去することにより, 直線の方程式 $\frac{x - x_0}{a} = \frac{y - y_0}{b} = \frac{z - z_0}{c}$ を得る. (この表現は $abc \neq 0$ のとき意味を持つ. 例えば $a = 0, bc \neq 0$ なら, $x = x_0, \frac{y - y_0}{b} = \frac{z - z_0}{c}$ となる.)
- 点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ を通り, ベクトル \mathbf{b}, \mathbf{c} (1 次独立) で「張られる」平面は $\mathbf{x} = \mathbf{x}_0 + s\mathbf{b} + t\mathbf{c}$ (s, t は実数) と表される (平面のベクトル方程式). これと $\mathbf{a} := \mathbf{b} \times \mathbf{c}$ との内積をとれば, s, t が消去され, $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{x} - \mathbf{x}_0) = 0$. このとき, $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c)$ は平面の法線ベクトルであり, 平面の方程式 $a(x - x_0) + b(y - y_0) + c(z - z_0) = 0$ が得られる. (通常は $ax + by + cz + d = 0$ あるいは $ax + by + cz = d'$ の形に整理する.)

- * 平面 $ax + by + cz + d = 0$ 上の点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ と, この平面上にない点 $\mathbf{x}_1 = {}^t(x_1, y_1, z_1)$ に対して, $\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_0$ の $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c)$ 方向への正射影を考えることにより, 点 \mathbf{x}_1 と平面の距離 (= 点 \mathbf{x}_1 からこの平面へ下ろした垂線の長さ) が $\frac{|ax_1 + by_1 + cz_1 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$ で与えられることを示せ.
- $P(1, 1, 0)$, $Q(2, -2, 3)$, $R(3, -1, 1)$, $S(-1, 3, 4)$ とする. ① 平面 PQR (3 点 P, Q, R を通る平面) の方程式を求めよ. (まず法線ベクトル $\overrightarrow{PQ} \times \overrightarrow{PR}$ を求めよ.) また, 点 S とこの平面の距離を求めよ. ② 点 P を通る平面 PQR の法線の方程式を求めよ. また, 点 S とこの直線の距離 (= 点 S からこの直線へ下ろした垂線の長さ) を求めよ.
- 2 平面 $x + y - 3z = 1$, $2x + y + z = -1$ の交線の方程式を求めよ. また, 2 平面のなす角を求めよ. (交線の方向ベクトルは 2 平面の法線ベクトルと直交することに注意. また, 交線が通る点としては例えば xy 平面との交点を考えるとうい. あるいは, 交線上の点を連立 1 次方程式の解の集合と考えてもよい.)
- 直線 $\frac{x-1}{5} = \frac{y+1}{3} = \frac{z-5}{-4}$ と平面 $5x - 4y - 3z = 19$ との交点を求めよ. 更に, この直線と平面とのなす角を求めよ. (この直線と平面に対する法線とのなす角に注目せよ.)
- 2 直線 $x = \frac{y+1}{-2} = \frac{z-1}{3}$, $\frac{x}{2} = \frac{y-1}{-3} = \frac{z-3}{4}$ の両方と垂直に交わる直線の方程式を求めよ.